



氷見の元気を発信する情報誌

ひみ

広報

10

October.2017
No.768

- | | |
|----|-----------|
| 2 | 野生動物対策 |
| 4 | ひみ食彩まつり |
| 10 | 木育 |
| 16 | 孫とおでかけ |
| 17 | 市民議会 議員募集 |

豊かな自然の恵みに感謝して

写真 薮田地区の獅子舞(9月9日撮影)

野生動物が 身近にせまつています



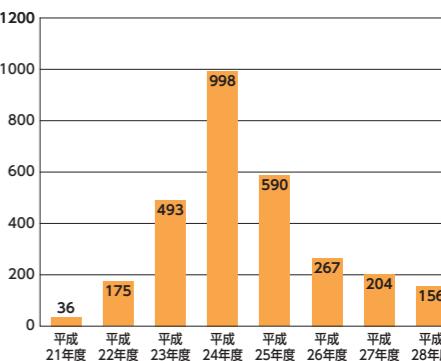
イノシシが住宅地付近で目撃されるようになり、農作物の被害だけでなく、人身被害の発生が懸念されるなど、市民の皆さん安心・安全な生活を脅かす状況になっています。これから、イノシシをはじめ野生動物の出没のピークを迎える市では、平成21年度からイノシシによる農作物被害が発生し始め、平成24年度には被害額が998万円となりました。

市では、平成21年度からイノシシによる農作物被害が発生し始め、平成24年度には被害額が998万円となりました。農作物被害を防止するため、電気柵などの侵入防止柵の整備による被害防除を推進しています。その結果、農作物を自當てに来たイノシシが数多く捕獲されています。平成25年度以降は、農作物被害は年々減少して、平成27年度以降は、ピーク時の2割程度に落ちています。しかし、農作物被害が減少している一方で、道路が石や泥で塞がれたり、ため池の法面が掘り起こされたりするなど、施設の被害が発生しています。

野生動物による被害の現状

さらに、近年では市街地周辺まで野生動物が出没するという新たな問題が発生しています。今年の6月には、交通事故により負傷したイノシシが付近の住宅敷地に侵入するということがありました。負傷した野生動物は自己防衛で人を襲う危険性が高いため、警察の立ち会いのもと、処分されました。また、旧灘浦中学校敷地内への侵入も確認され、生活圏内に出没することにより、人におよぶ危害が懸念されています。今年の8月には宇波地内の能越自動車道で乗用車がイノシシと衝突して、車は大破して炎上し、運転していた男性が軽いけがをするといった事故が発生しています。

農作物被害金額は減少。しかし、市民生活への危険が及ぶことに。



イノシシによる農作物被害金額の推移

イノシシの生態



活動時間	昼夜問わず行動 (夜間に餌を求めて行動することが多い)
行動域	1 ~ 2 km
食べ物	雑食性
春	タケノコ
夏	草本新芽
秋	イネ・ハトムギ
冬	塊茎・タケノコ

- 特徴**
- 時速40km以上の速さで走る
 - 助走なしで1m以上の跳躍力
 - 地面から20cmのすき間があればくぐり抜けようとする
 - 犬並みの非常に鋭い嗅覚をもつ
 - 海や湖を泳ぐことができる
 - 学習能力が高い
 - 子育ては年1回(1回で4~5頭を出産)
 - 野生での寿命は5~10年といわれている(ただし、生息環境により変化する)

野生動物被害防止対策連携会議

市では、8月9日、生活環境被害の軽減や人身被害の防止を図るために、情報の共有と関係部署の連携強化を目的に野生動物被害防止対策連携会議を開催しました。

野生動物にご注意ください

もしも野生動物に遭遇したら

- クマ・イノシシに出会ったら
- ①刺激を与えない
 - ②目を離さずゆっくりと後退
- 出会わないように
- ①鈴をつけるなど音で人間の存在を知らせる
 - ②懐中電灯など、光で人間の存在を知らせる
 - ③活発に行動する朝夕は山中に入らない
 - ④山に入る場合は、複数人で行動する

車の運転に注意しましょう!

イノシシなど野生動物が突然道路に飛び出し、車と衝突する事故が発生しています。制限速度を守り、安全運転を心掛けてください。

生ごみの放置はやめましょう!

家庭から出た生ごみはイノシシやクマにとってとてもうれしい餌です。道路などに放置しないようにしましょう。

鳥獣被害についてご相談ください

林道の崩壊

イノシシによる林道の法面が崩壊などし、二次災害を起こす恐れがある場合、応急的な対応を支援します。

【問合せ】

建設課 ☎ 30-7011

集落環境整備

野生動物の餌となる放任果樹の伐採など、地域ぐるみで対策に取り組まれる場合、支援します。

【問合せ】

農林畜産課 ☎ 74-8086

引き続きイノシシ対策をお願いします(集落環境管理)

住処、隠れ場の除去

耕作放棄地の草刈りや竹林の整備をして、イノシシの住処や隠れ場をなくしましょう。



水稻二番穂(ヒコバエ) 対策

イノシシは水稻二番穂を食べると、本来越冬できない個体まで越冬できることとなり、その結果個体数の増加に拍車がかかります。その対策として、秋耕したり、11月下旬まで電気柵を設置したりすることが大切です。

収穫残渣の撤去

収穫しない野菜は適正に処理し、また果樹は全量収穫するか、採らない放任果樹は伐採処理するなどしっかり管理し、イノシシに餌を与えないようにしましょう。



[問合せ]

☎ 74-8086

